



「ディスカバー農山漁村の宝」応募用紙 (団体用)

都道府県名 (必)	〇〇県	市町村名 (必須)	〇〇市
-----------	-----	-----------	-----

団体名 (必須)	〇〇〇
----------	-----

1. 団体の概要 (必須)

設 立 年 平成〇年〇月〇日
 構 成 員 代表理事〇名、〇〇理事〇名、理事〇名、監事〇名、事務局長、〇〇トレーナー 〇人
 事 業 ①農業分野での障がい者就農への支援活動事業
 ②農福連携の推進のための情報発信事業

2. キャッチフレーズ (必須)

障がい者とともに〇〇を

3. 活動のきっかけ (必須)

農福連携を推進する中で、農業経営体からは「本当に〇〇できるの?」「どう〇〇していいかわからない」、また、障がい者からは「農業の経験がないから〇〇」「〇〇的にだいじょうぶかな?」などの声があり、双方がなかなか踏み出せないでいる現状を痛感。双方の〇〇を払しょくするには、両者をマッチングし、就農に向けサポートする人材が必要と考え、〇〇トレーナー養成講座をスタートさせた。

4. 取組概要 (必須)

〇〇トレーナーを養成し、〇〇事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進する。

5. 取組の具体的内容及び成果 (効果) (必須)

① 〇〇トレーナーの養成と障がい者の就農支援
 農業経営者と就農を希望する障がい者の双方に関わり障がい者がより働きやすくなるよう支援・指導する「〇〇トレーナー」の養成講座を開催。令和〇年度末で延べ〇〇人を養成。初めて農業に携わる障がい者や施設外就労に初めて取り組む〇〇事業所や農業経営体のサポーターとして、また、農福連携に取り組む事業所や農業経営体及び関係機関等の担当者として活躍している。

② 〇〇学校との連携 ～農業が進路選択の一つに～
 〇〇部の職場体験実習に〇〇トレーナーを派遣し、生徒と農業経営者の双方をサポート。就職後も定着に向け、定期的に支援している。また、県教育委員会及び〇〇学校の協力のもと農業教育プログラムを作成。令和〇年度は、〇〇教育部門の〇〇学校〇校すべてが、作業学習等における農業実習実践校として、農業に取り組み、農業経営体を進路先として選択する生徒も育ってきている。

③ 農福連携マルシェの開催・商品開発・販路拡大の取り組み
 新型コロナウイルス感染症の影響で地域の催しが中止、事業所で収入が減少しているが、近隣のマーケット等との連携で、小規模のマルシェを開催。また、生産物の加工品の開発や、売れる作物の栽培支援も行っている。

④ JAO〇会と連携し、施設外就労のマッチングに取り組む、新たに農業に参入する福祉事業所を支援

⑤ 視察受入
 農業者、福祉事業所、行政等が連携し、障がい者等が農作業や農産物の加工・販売に参画できる農福連携の仕組みを構築している。取組内容や運営ノウハウを広く共有するため、全国の自治体や農業・福祉関係者からの視察を積極的に受け入れており、年間〇件、延べ〇人以上が来訪している。視察後には〇地域で類似の取組が開始されるなど、農福連携の普及・横展開に貢献している。また、障がい者等の活躍の場の創出と農業分野の人手不足解消を両立し、参加者は〇人から〇人へ増加した。

⑥ 情報発信について

団体記載例⑨(農福連携)

農福連携の取組や障がい者等の活躍を広く発信するため、SNSやホームページ、地域イベント等を活用した情報発信を行っている。取組の様子や生産した農産物・加工品の魅力を継続的に発信した結果、SNSの総閲覧数は年間〇万回を超え、地域内外からの認知度向上につながった。また、販売イベントや交流会には年間〇人以上が参加し、農福連携への理解促進と地域住民との交流機会の創出を実現している。これらの取組により、農福連携商品の売上は〇万円から〇万円へ増加した。

6. 活動実績 (必須)

項目	単位	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度 (見込み)
〇〇トレーナー取得人数	人	10	15	20	30	50	70
	解説: 〇〇トレーナー養成講座修了者数						
〇〇事業所の農業参入実績	カ所	20	31	33	35	36	37
	解説: 農業参入している福祉事業所の延べ数						
農業経営体における雇用実績	カ所	10	12	13	14	15	17
	解説: 障がい者を雇用している農業経営体の延べ数						
障がい者就農人数	人	100	150	155	161	166	180
	解説:						

7. 活動の主な変遷 (必須)

初年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度 (見込み)
平成〇年〇月 〇日設立	農福連携マル シェ開催	〇〇学校との 連携開始	施設外就労へ の支援開始	新作物の作付 指導支援開始	新商品開発 の支援開始	

8. 今後の展開方向 (必須)

新型コロナウイルス感染症拡大防止から、オンラインでの〇〇トレーナー養成講座を開催している。高校生や新規就農者、農福連携への参入を検討している事業所の職員など予想以上の参加があったことから、農福連携のすそ野を広げていくため、オンライン研修の充実を図っていく。

また、〇〇サイドのニーズを適切に把握しサポートするには、それぞれの地域ごとのワンストップ窓口が必要であることから、市町と連携し、地域拠点を創っていく。

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>
()	()

団体記載例⑨(農福連携)

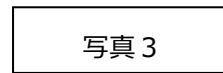
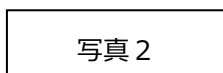
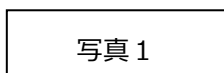
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
()	()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
()	()

10. 表彰等の受賞歴 (該当あれば)

表彰名等(受賞年度)	主催者
令和〇年度ディスカバー農山漁村の宝〇〇局選定	農林水産省

11. 活動に関するPR・エピソード (自由記入、写真等添付可)

県立〇〇学校〇〇校のすべての学校(〇校)で農業実習に取り組んでいます！
 平成〇年度より、生徒たちが、農業分野への就労を進路選択の一つとして考えることができるよう〇〇県教育委員会と連携し、〇〇トレーナーの派遣や〇〇学校における農業実習プログラムの作成に取り組み、令和〇年度は、当〇〇会が、畑の整備や作業道具・肥料・苗等の購入を支援したことで、各校で工夫を凝らした取り組みが行われています。



〇〇の整枝 (獣害対策も)

収穫した野菜を校内で販売してます

ハウスが出来1年中作業ができます

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。

情報を希望する